

藤戸周辺の案内図

藤戸の合戦

治承4年(1180)に始まり、全国的に展開された源・平両氏による戦乱は、建久元年(1190)奥州藤原氏の滅亡まで、10年間にわたりました。

歴史的には我国が、古代から中世に脱皮するためのこの動乱中、華々しい合戦が二度までも倉敷市内で繰りひろげられたことを、私たちは覚えておきたいと思えます。寿永2年10月には、玉島でと想定されている水島合戦があり、翌年(1184)12月、藤戸の合戦がありました。私たちはその遺跡に囲まれて、暮らしているのです。

源平合戦年表

- 治承4年(1180)
- 4月 以仁王、源頼政挙兵。
 - 8月17日 源頼朝挙兵。
 - 8月17日 石橋山の戦い。
 - 9月7日 源(木曾)義仲挙兵。
 - 10月6日 頼朝、鎌倉に入る。
 - 10月20日 富士川の戦い。
- 養和元年(1181)
- 3月16日 墨俣川の戦い。
- 寿永2年(1183)
- 5月11日 俱利伽羅峠の戦い。
 - 7月 平家都落ち、義仲入京。
 - 10月1日 水島の戦い。(倉敷市玉島)
 - 10月14日 頼朝の東国支配を認める宣言。
- 寿永3年=元暦元年(1184)
- 正月 範頼、義経が義仲を討ち入京。
 - 2月7日 一谷の戦い。(須磨ノ浦)
 - 12月7日 藤戸合戦。(倉敷市藤戸周辺)
- 文治元年(1185)
- 2月18日 屋島の戦い。
 - 3月24日 壇ノ浦の戦い、平家滅亡。



「藤戸の古跡」への交通

- 藤戸寺、経ヶ島、遍照院、池田家墓所、浮岩、先陣庵、かがり地蔵 (倉敷駅よりバス20分 藤戸寺下車)
- 海禅寺、静光寺、正福寺、正覚寺、お茶屋跡(天城陣屋跡) (倉敷駅よりバス20分 天城上之町バス停下車)
- 笹無山 (倉敷駅よりバス20分 高速下バス停下車 徒歩10分)
- 鞭木 (倉敷駅よりバス20分 高速下バス停下車 徒歩10分)

藤戸周辺の史跡めぐり

●藤戸史跡保存会

倉敷市藤戸町藤戸57 TEL.(086)428-1129

●倉敷観光コンベンションビューロー

倉敷市中央2-6-1 TEL.(086)421-0224



盛綱像



1 藤戸寺 ふじとじ

奈良時代に行基菩薩が開基。高野山真言宗。平家滅亡後、佐々木盛綱は両軍戦没者の供養に、大法会を催し、建物の修復もした。境内の石造五重層塔は鎌倉中期の寛元元年(1243)銘、県指定重要文化財である。

いま刈田にて 海渡る兵馬見ゆ
誓子

2 経ヶ島 きょうがしま

盛綱橋の東、天城小学校の校庭に続いて小さい丘がある。もとは藤戸寺が管理していた海中の島。頂上に古びた宝篋印塔(経塚)と六角形の石塔婆(漁塚)がある。佐々木盛綱に浅瀬を教えた「浦の男」の供養に建てられたという。

経ヶ島 秋の下閣 深かりし
年尾



3 浮州岩跡 うきすいわあと

京都の醍醐寺三宝院の庭は国の特別名勝史跡だが、この庭で有名な藤戸岩は、浮州岩と呼ばれ海中に浮き沈みしていた。江戸時代に、水尾筋を残して南北から干拓が進んだ頃、かつて岩があったところに記念の碑が建てられた。碑名は熊沢蕃山の書と伝えられている。

4 乗出岩 のりだしいわ

元暦元年(1184)12月7日早朝、源氏の武将、佐々木盛綱は僅かな部下とともに海に馬を入れた。対岸の種松山一帯に布陣する平家の軍との間に、藤戸合戦が開幕した。鎌倉の総大将頼朝は、海を馬で渡った例がない、と賞賛した。



5 先陣庵 せんじんあん

盛綱が源氏方の先陣としてここに上陸し、戦後に庵を建てて戦没者や、浅瀬を教えた盛綱に切られた若い漁師、浦の男の霊を慰めたと伝える。北の台地の畑を、少し深く掘れば、錆びた武器や人馬の白骨がよく出たといわれる。



6 笹無山 ささなしやま

盛綱に切られた浦の男にはひとりの母がいた。息子の無残な最後を知り、佐々木と聞けば笹まで憎いと笹を抜いてしまった。

謡曲藤戸では、盛綱の馬に絶がり、無情な仕打ちを怨む哀切な筋書きになっている。



7 誓紙井戸 せいのいど

藤戸合戦で源氏方が勝利を収める機縁となった盛綱の行動は、平家滅亡後に見島をあてがわれることで報いられた。新領地にやってきた盛綱は土地の有力者に服従を求め、誓紙を差し出させた。誓紙を書く硯水を汲んだ井戸と伝える。



8 鞭跡 むちきあと

このあたりは土地が少し高い。乗出岩から海に入った盛綱は、ここで馬を休めた。持っていた鞭を水底にさしたが、いつか巨木に育ち地名となる。藤戸寺にある盛綱像はこの木が枯れたのを利用し、文政10年天城藩土山脇十二郎が彫刻した。



9 蘇良井戸 そらいど

背後の高坪山一帯に布陣した源氏の軍が、この井戸を利用したという。蘇良の意味は分からない。近世・現代を通じ、飲み水に困る新田地帯の住民によく利用された。

10 御崎神社 おんざきじんじや

境内三社に浜神社があるが、ここも海に面していた古い社である。盛綱が出陣前、社頭の松に旗をたてて戦勝を祈った。もとは少し上にあつたが盛綱が正治元年(1199)現在地に移したという。



11 天城池田公墓所 あまきいけだこうぼしよ

天城のお櫻山という小高い丘に、天城池田家の墓が並ぶ。慶長14年(1609)に下津井城を預かった由之を初代に数えると、昭和元年の年末に没した政祐まで、12代となる。代々岡山に居住し、分家格で厚遇され、本藩の施政を助けた。明治以降は男爵に列した。



12 天城陣屋跡 あまきじんやあと

幕府を憚りお茶屋と称したが、実質は陣屋であり支藩の格式を持っていた。初代由之が児島郡で32000石と下津井城を預かるが、寛永16年下津井城破却後、天城で政庁を開き、家臣を居住させた。その意味で天城は城下町でもあった。



13 天城キリスト教会 あまききりすときょうかい

明治23年建築の県下最古のキリスト教会である。図面だけで洋風建築に挑戦した、当時の大工には感心する。天城について岡山や高梁に建てられた。岡山県の史跡である。

この他にも当地区には、源平合戦にまつわる伝承地が多く残されています。また天城池田公に関する遍照院・正覚寺・静光寺・正福寺・海禅寺、または広田神社・素盞鳴神社などの、由緒ある寺社があります。一度散策にお出掛け下さい。

藤戸史跡巡りを応援いたします!

史跡巡りの後は昼食に手作りバイキングと源平古戦場を眺めながら展望大浴場でごゆっくりして下さい。

ピュッフェ Well Balanced
～心と体のバランスを整える～
●営業時間 11:30～13:30
●料金 昼 大人 1300円
65歳以上 1000円

展望大浴場日帰り入浴のご案内
●営業時間 11:00～15:00
●料金 大人 500円
●休業日 毎週火曜日

宿泊・宴会・食事・会議 〒710-0031 倉敷市有城1265
山陽ハイツ TEL (086) 429-1111

生きようざ・お持ち帰り専門店

倉敷 **ぎょうざ**

〒710-0132
倉敷市藤戸町天城37-3
Free Dial TEL 0800-200-7730

登録商標

藤戸 餛飩

倉敷市藤戸町藤戸
本家 餛飩屋
電話 086-421-1011

武功の陰に散らされた若い命と、その母が流した狂乱の涙。源平悲話の残る「藤戸」へようこそ。

藤戸史跡保存会
倉敷観光コンベンションビューロー

野村交通(株)
倉敷市福田町古新田862番地

タクシーのご用命は
TEL 086-455-2323
バス・観光のご用命は
TEL 086-455-1110

水島信用金庫

いつも身近なパートナー、地域とともに、あなたとともに

倉敷市水島西常盤町8-23
TEL (086) 446-2221 (代表)
FAX (086) 448-1254

